

総人口は日本の約5倍越え ヨーロッパの職人が高い技術を持つ理由

今回も、世界各地の賃金事情を紹介し、日本と比較していきたいと思います。第3弾は、ヨーロッパについてです。

誰もが高い向上心を持つドイツ人

まずは、世界有数のラッピング大国と言われる、ドイツから見ていきましょう。日本と同様、車両製造が盛んな国ひとつです。人口分布も似ており、30歳以下の人口比率は、ドイツ29%、日本27%。しかし、カーラッピング施工の単価は、日本より約20%前後安いのだそうです。なぜでしょうか。この要因は、大きく2点。材料が日本の半額から7割弱くらいの金額で入手できる点と、職人の生産性が高く、1時間当たりにこなせる仕事量が3割前後多いためと言われています。

職人の年齢層は、30歳以上がほとんどで、多くは40歳代。賃金は、日本と同等または少し高めに設定されています。もちろん、技術の優れたベテランと新人では大きな違いがありますが、上級者になるほど、依頼も舞い込みやすくなるのは当然です。より多くの仕事をこなすため、こぞって腕を競い合い、互いに技術を高め合う環境の土壤が出来上がっています。

またポーランド、チェコ、オーストリアなど9つの国に接しているため、隣国の会社へ外注を依頼しているケースも多く見られます。これは、ドイツと比べて隣接する国々の方が物価と工賃が安いからです。EU諸国はこのように、フリーランスや会社の規模を問わず、国をまたいで仕事を取り合っています。EU連合全体でみると、総人口は約5億人。日本の約4倍にも膨れ上がり、当然市場も大きいです。技術指導における教育・技能認定制度が日本と比べてより確立しているのは、このあたりに理由があるのです。



2019年1月フランス・ヴェルサイユ宮殿の足場目隠し養生

急激に技術進化を遂げているロシア人

ヨーロッパでもうひとつ紹介したいのが、ロシアです。人口は世界第9位ですが、ロシアです。人口分布は25～40歳、0～10歳を中心としたひょうたん型をしており、ラッピングの職人を見ても明らかに25～40歳の職人が多くなっています。

この国の職人が持つ特徴は、器用で生真面目な人が多いところです。根気もあり、どことなく日本人と似ている気風を感じます。圧倒的にフリーランスが多いですが、なかには富裕層をターゲットにした大手企業も。それらは例外としてブランド系のフィルムを扱いますが、フリーランスや一般企業はBtoCを顧客としているため、比較的安価なフィルムを使用して安く仕事を受注するスタイルが基本です。賃金は日本の約20～30%ダウンというところでしょうか。

ロシアは近年、他国へのビザ取得が容易になりました。それに加えwebの発展も手伝い、他国の情報や技術をどんどん吸収して、急速に成長している国ひとつです。私が初めて訪れた3年前から比べると、最も進んだ国と言えるでしょう。ただし、まだ多くの職人が、実際の技術とは乖離した安い施工費で作業をしている場合が多いのも事実。このあたりの解消が課題です。

人材不足に悩む日本の職人があるべき姿

3回にわたって、海外のお金事情に触れてきましたが、最後に日本の現状について個人的な見解を話していきたいと思います。前述の通り、日本の30代以下の人口比率は27%です。世界での類を見ないほどの少子高齢化が進み、継続的に一流の職人を輩出し続けるのは極めて難しい時代になっています。

SAMURAI WRAPPER



2019年5月ドイツ・ミュンヘンのボルボディーラーのデモカー



ドイツ・ハンブルクの、あるサインショップで走らせてる営業車



ドイツ・ミュンヘンで開催されたFESPAでの施工デモ。1人が2日をかけて、1台の車を貼り上げる

そんななかでも、我が国の職人は「日本人の技術が世界一だ」と考えている方が多いと思います。一部正しいと思いますが、実は国外での印象は違います。私がさまざまな国を訪れた際にまず言われるは、「日本のクオリティコントロールは素晴らしい」という言葉です。

貼りの技術だけでなく、車両やカメラなどの機械においても、故障の少なさ、精度の高さなどを褒められます。一方で、ひとつひとつを丁寧に作りこむため、生産性の悪さを指摘される場合もあります。カーラッピングの分野でも、施工スピードは欧米諸国に遅れを取っている部分であり、日本人の大きな課題です。

今後も進むであろう少子高齢化に向

けて、一人ひとりの生産量をもっと増やすなければ、世界に遅れをとってしまうでしょう。もはや「良いものをより安く」の時代ではありません。この考え方は、人口増加、すなわち職人の増加が大前提になります。現在の東南アジア・中南米・アフリカなどの国々にしか当てはまらないなっており、日本にはふさわしくありません。

これから、日本の職人に求められる技術は何でしょうか？ 各国の状況を理解した上で、自社にとって必要なのは何か、ヒントをつかんでもらえればと思います。次回は、世界のフリーランスや企業とどう接すれば、信頼関係を築けるかという点を書いてみたいと思います。

苅谷 伊 (かりや ただし)



1969年2月3日生まれ。89年大学中退後、父の看板業を手伝い始める。07年より、カーラッピング専門のPPF事業部を立ち上げ、車体装飾に注力。日本カーラッピング協会の会長も務める。現在は、数々の世界的ラッピングコンテストで受賞を果たす傍ら、世界各地で車体装飾のデモンストレーションを実施するなどトレーナーとして活躍。各國におけるサイン製作の現場に積極的に視察し、業界の発展に寄与する活動を続ける。

主なラッピングコンテスト

| | |
|--|-----|
| 2017年（アメリカ・ラスベガス） SEMA SHOW HEXIS WRAPPING BATTLE | 2位 |
| 2018年（ドイツ・ベルリン） FESPA WRLD WRAP MASTERS | 4位 |
| 2018年（アメリカ・ロングビーチ） WRAP OLYMPICS | 優勝 |
| 2018年（アメリカ・ラスベガス） SEMA SHOW HEXIS WRAPPING BATTLE | 3位 |
| 2019年（ドイツ・ミュンヘン） World Wrap Masters Europe | 8位 |
| 2019年（アメリカ・ロングビーチ） WRAP OLYMPICS | 準優勝 |

SNS

フェイスブック（苅谷 伊）
Instagram @designlab.inc.wrap_japan
Twitter @tadashikariya

株式会社デザインラボ PPF事業部

〒501-6023
岐阜県各務原市川島小網町2150-24
TEL/FAX: 0586-89-2322

〒243-0021
神奈川県厚木市岡田3122 aprサービスセンター内
TEL: 046-258-6531 FAX: 046-228-7636



World Wrap Masters Japan

ワールドラップマスターズ ジャパン

主催：一般社団法人 日本カーラッピング協会（JCWA）

会場 第21回名古屋モーターショー・ラッピングコーナー内
(名古屋市金城ふ頭のポートメッセなごや)

日時：2019年11月22日～24日

スポンサー

プラチナ：ミマキエンジニアリング

ゴールド：テクノプロモーション、リンテック

シルバー：オラフォルジャパン、中村商事、マックスデカール

ブロンズ：デザインラボ、ライスター・テクノロジーズ、ジージープラス、ニチエ、ブームクラフト

協賛：ミラーデカール、ラップグローブ、ラッパーラッパー、ジェネシス

世界規模のラッピングコンテスト「World Wrap Masters」の日本大会が昨年11月、日本カーラッピング協会（JCWA）主催のもと、第21回名古屋モーターショー・ラッピングコーナーで初開催された。

競技内容は、国外で開催されているWorld Wrap Mastersの国際ルールに

準拠。車両ラッピングとクリエイティブラッピングの2本立ての構成で、審査員により減点加点方式でポイントが算出され、その合計点を競い合う。前者は通常業務にも通じるフェンダーやドアノブを含む貼り施工。一方、後者は車以外のオブジェクトに対するラッピングで、毎回当日にテーマが発表され、選手の

応用力が問われる。

優勝者は、今年3月に開催される「FESPA 2020 スペイン マドリッド World Wrap Masters 世界大会」へ日本代表として送り出される。

初日のRound1は、参加者22名が6グループに分かれて腕を競い合った。車両ラッピングの範囲は、ドアノブを含めたフロントドア。クリエイティブの課題はヘルメットに対する貼り施工で、16

名が勝ち上がった。

翌日のRound2では、車両ラッピングがフロントフェンダーとドアノブを含めたプロントドア。クリエイティブはコーラボトル型の大型貯金箱で、8名がセミ



ヤマックス・川上裕貴選手



デコラティブシステム・峯晃之選手



LE Wraps/LETTERING Express・チャーリー チュリジオ選手



東名・竹中聖人選手



ファイナルラウンドに
勝ち上がった4選手

ファイナルに出場を決める。

セミファイナルまで残ったのは、ヤマックス・川上裕貴、デコラティブシステム・峯晃之、LE Wraps/LETTERING Express・チャーリー チュリジオ、東名・竹中聖人、P.G.D・戸井康人、Kamui Produce・原一、リンダファクトリー・林田優希、TCW EXCEED・新谷公平の8選手。

迎えた最終日、セミファイナルの車両ラッピングはリアフェンダーとドアノブを含むフロント・リアドア。クリエイティブはロシア大会で実際に使用されたバイキングの盾で、ベスト8からファイナルへ進む4名を選出した。

ファイナルステージは、90分間でピラーを含めた車両片側のサイドをフルラッピング。装飾する車体の面積に対してわずかにフィルムのサイズが小さく、ギリギリの見極めが必要となる。高い技術が求められるなか、選手ごとに余白の取り方、切り方など個性が見られた。

優勝は川上選手 わずか3ポイント差での栄冠

3日間をかけ総勢22名の競技者で繰り広げられた白熱のバトルを制したのは、川上選手。獲得ポイントは、444ポイント。優勝に続き441ポイントで2位・竹中選手、432ポイントのチュリジオ選手、398ポイントの峯選手と続いた。

優勝者インタビューで川上選手は、

「大先輩たちの胸を借りて、一戦一戦、勝ち上がるため集中した結果が、このような成果につながり、嬉しく思います。FESPAでも、この調子でガンガン勝ち上がっていきたいです」と胸を張った。カーラッピングの業界に入って4年半、今大会の結果が大きな自信と、さらなる高みを目指すきっかけになったと言葉を結んだ。

審査員は4名で、特別審査員にカーラッピング業界の巨匠、アメリカのジム・ミラー氏を迎える。デザインラボ・苅谷伊氏、G.Meister・山口孝二氏、ジェネシス・栗原史氏が務めた。

JCWA 苅谷会長は、「ファイナルラウンドまでの5ラウンドで敗退した21名のメンバーは、悔しい気持ちでいっぱいだと思います。ですから優勝した川上選手には、FESPAで楽しんで来いとは言いません。2位以下の彼らの気持ちを背負って、日本代表として頑張ってほしいと思います」とエールを送った。



トロフィーを掲げる川上選手



セミファイナルに勝ち進んだ選手と審査員たち



セミファイナルのクリエイティブラップ。凹凸状の盾にラッピングするため、棒状のマグネットを足代わりにして、安定させるなどの工夫が見られた



審査の様子。シビアな減点・加点に加え、ヒートガンで床のカーペットを焦がすと即失格、FESPA公式の基準に沿った厳しい採点となった

は、責任と誇りを持ってスペイン・マドリッドへ行ってほしい」とファイナルラウンドへ挑む選手たちへ言葉を投げかけた。



懇親会参加者の集合写真

大会2日の夜には、会場を移してJCWA主催の懇親会が行われた。冒頭、苅谷会長は、大会の実現にあたり尽力した関係者や参加者へ謝辞を述べ、「明日の最終競技で日本代表になる選手に

飯村将人理事の乾杯で開宴。選手やスポンサー、海外からのゲストがスピーチした。ジム・ミラー氏は「念願の来日が叶い嬉しく思う。世界大会でも日本の活躍に期待している」と述べ、苅谷会長から記念品が手渡された。

続いて、当日誕生日を迎えた会員や



苅谷会長とジム・ミラー氏

シート貼り用品専門ショップ カーラッピング

PPF SHOP
PAINT PROTECTION FILM SHOP
<http://www.ppfshop.net>



オンラインショップで
いつでも注文受付中!
<http://www.ppfshop.net/>

PPFSOHP

検索



カッターを使わずにフィルムをカット!
ナイフレステープ



ロールプロ

エアフリー フィルムの
リベット処理、コルゲートパネル施工に最適!



多彩な水貼り道具が大人気!
フュージョンツールズ
MAGNET CATAPULT



ヒートガンなどを手軽にホールド!
マグネットカタapult

施工に役立つツールが揃う!
シート貼り用品専門ショップ

カーラッピング用品専門ネットショップ
PPF SHOP
PAINT PROTECTION FILM SHOP
www.ppfshop.net
施工ツールカタログ Vol.5

高性能! 高耐久!
世界中より集められた
ハイクオリティツールをあなたへ!

ラッピングフィルム材料についても
まずはお問い合わせください!

カタログ無料配布中!
詳しく述べるお問い合わせください。

■ 施工業者向け業販登録店様 隨時募集中! ■ 販売代理店様 隨時募集中!

登録希望の業者様はお気軽にお問い合わせくださいませ。

E mail:info-ppf@designlab.co.jp TEL:0586-89-4341 担当:Web事業部